

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

記録：3.11オモイデアーカイブ

013_001 - 013_005

震災後、まちがどのように形を変えながら復旧・復興の道を行ってきたかを記録し続けてきた3.11オモイデアーカイブによる定点観測写真パネル。復興工事によって大きく変貌をとげる町並み、一方でほとんど変化しない場所もあり、土地ごとの変化の速度が見て取れます。ラウンジ展「みつづける、あの日からの風景」(会期：2016年11月20日-2017年1月8日)で展示されました。

記録／3.11オモイデアーカイブ

撮影地／宮城県仙台市・名取市・気仙沼市・女川町・松島町・東松島市・石巻市・南三陸町・七ヶ浜町・亶理町・塩釜市・多賀城市・岩沼市、岩手県宮古市・陸前高田市、福島県浪江町

記録日／1998年5月31日-2016年11月12日

制作年／2016年
パネル枚数／72枚



パネル番号：013_001
資料名：深沼海岸バス停
記録日：2007年5月7日／2013年7月5日／2016年9月8日
撮影：工藤寛之
地域情報：仙台市若林区

かつて深沼海岸は仙台市から一番近く、市バスで行くことができる身近な海水浴場だった。被災後、荒浜の集落とバス停は消えた。今では慰霊碑に通う車の駐車場にその機能を変えている。



パネル番号：013_002
資料名：荒浜・第二旭橋南側
記録日：2007年5月7日／2013年7月5日／2016年9月9日
撮影：工藤寛之
地域情報：仙台市若林区

貞山堀に面して多くの家屋が整然と並び、独特の風景があったが、被災後に災害危険区域に指定され暮らしの姿は戻らず、今は排水機場の工事だけが粛々と進む。



パネル番号：013_003
資料名：荒浜・第二旭橋北側
記録日：2009年10月14日／2013年7月5日／2016年9月9日
撮影：工藤寛之
地域情報：仙台市若林区

荒浜・第二旭橋北側の貞山堀は、かつて豊かな松林に包まれていた。その中をサイクリングロードが走り、散歩や秋のキノコ狩りと、生活道路して親しまれた。



パネル番号：013_004
資料名：田老防潮堤分岐「北」側
記録日：2006年5月30日／2016年6月3日／2016年7月30日
撮影：工藤寛之
地域情報：岩手県宮古市

昭和期に築かれた巨大堤防。東日本大震災により決壊し、田老の中心街は壊滅。被災しながらも残った旧田老観光ホテルは保存震災遺構としてその姿を保っている。



パネル番号：013_005
資料名：田老防潮堤分岐「南」側
記録日：2006年5月30日／2016年6月3日／2016年7月30日
撮影：工藤寛之
地域情報：岩手県宮古市

内側には田老の中心街が整備され、賑わっていたが、津波で壊滅した後は更地となり、さらに野球場が整備され町の面影はなくなってしまった。

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

記録：3.11オモイデアーカイブ

013_006 - 013_011

岩手県陸前高田市



2006.9.2 (撮影：工藤寛之)

2013.8.9 (撮影：工藤寛之)

2015.11.11 (撮影：工藤寛之)

2006年9月2日／2013年8月9日／2015年11月11日

撮影：工藤寛之

地域情報：岩手県陸前高田市

高田松原は藩政期から植林が進められ、その見事な白砂青松の美観は岩手県南を代表する名勝として多くの人に親しまれた。石川啄木の代表作「一握の砂」の砂はこの高田松原の砂である。

パネル番号：013_006
資料名：高田松原
記録日：
2006年9月2日／2013年8月9日／2015年11月11日
撮影：工藤寛之
地域情報：岩手県陸前高田市

高田松原は藩政期から植林が進められ、その見事な白砂青松の美観は岩手県南を代表する名勝として多くの人に親しまれた。石川啄木の代表作「一握の砂」の砂はこの高田松原の砂である。

気仙沼市



2010.12.11 (撮影：工藤寛之)

2013.8.9 (撮影：工藤寛之)

2016.11.4 (撮影：工藤寛之)

2010年12月11日／2013年8月9日／2016年11月4日

撮影：工藤寛之

地域情報：宮城県気仙沼市

現在は広い敷地に小さな食堂と直売施設、トイレだけが配置されているが、被災前はJR気仙沼線大谷海岸駅と一体化した大型施設が建っていた。敷地にはプラットホームが放置されている。

パネル番号：013_007
資料名：本吉町三島
記録日：
2010年12月11日／2013年8月9日／2016年11月4日
撮影：工藤寛之
地域情報：宮城県気仙沼市

現在は広い敷地に小さな食堂と直売施設、トイレだけが配置されているが、被災前はJR気仙沼線大谷海岸駅と一体化した大型施設が建っていた。敷地にはプラットホームが放置されている。

女川町



1998.5.31 (撮影：福地裕明)

2016.11.4 (撮影：福地裕明)

1998年5月31日／2016年11月4日

撮影：福地裕明

地域情報：宮城県女川町

ここから眺める女川のまちなみが好きだった。今は立ち入ることができず、残念ながら柵ごしの撮影となったが、新たなまちづくりを終えた暁には、あらためて眺望を拝みたい。

パネル番号：013_008
資料名：
女川町の崎山展望公園
記録日：1998年5月31日／2016年11月4日
撮影：福地裕明
地域情報：宮城県女川町

ここから眺める女川のまちなみが好きだった。今は立ち入ることができず、残念ながら柵ごしの撮影となったが、新たなまちづくりを終えた暁には、あらためて眺望を拝みたい。

女川町



2010.2.27 (撮影：工藤寛之)

2016.1.14 (撮影：工藤寛之)

2010年2月27日／2016年1月14日

撮影：工藤寛之

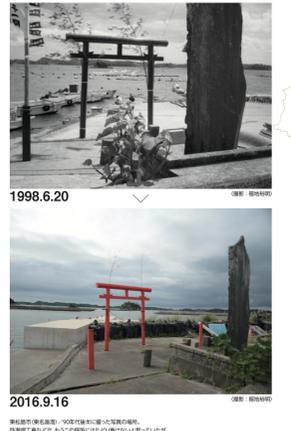
地域情報：宮城県女川町

被災前には岸壁に沿ってマリパル女川、商店街と旧市街がひしめくように立ち並んでいる。復興が進む現在は背後の山を大きく切り崩し、街全体が高台へ移動したことがわかる。

パネル番号：013_009
資料名：女川全景
記録日：2010年2月27日／2016年1月14日
撮影：工藤寛之
地域情報：宮城県女川町

被災前には岸壁に沿ってマリパル女川、商店街と旧市街がひしめくように立ち並んでいる。復興が進む現在は背後の山を大きく切り崩し、街全体が高台へ移動したことがわかる。

東松島市



1998.6.20 (撮影：福地裕明)

2016.9.16 (撮影：福地裕明)

1998年6月20日／2016年9月16日

撮影：福地裕明

地域情報：宮城県東松島市

90年代後半に撮った写真の場所。防潮堤工事などで、もうこの場所にはたどり着けないと思っていたが、ほぼかつての風景がそこにあった。

パネル番号：013_010
資料名：
東松島（東名漁港）
記録日：1998年6月20日／2016年9月16日
撮影：福地裕明
地域情報：宮城県東松島市

90年代後半に撮った写真の場所。防潮堤工事などで、もうこの場所にはたどり着けないと思っていたが、ほぼかつての風景がそこにあった。

松島町



1998.6.20 (撮影：福地裕明)

2016.9.16 (撮影：福地裕明)

1998年6月20日／2016年9月16日

撮影：福地裕明

地域情報：宮城県松島町

90年代後半、仙石線沿いをそぞろ撮り歩いた写真を思い出しているのかと探してみた。駅も踏切沿いの店舗も新しくなっていた。

パネル番号：013_011
資料名：松島町手樽字早川東（JR仙石線陸前富山駅）
記録日：1998年6月20日／2016年9月16日
撮影：福地裕明
地域情報：宮城県松島町

90年代後半、仙石線沿いをそぞろ撮り歩いた写真を思い出しているのかと探してみた。駅も踏切沿いの店舗も新しくなっていた。

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

記録：3.11オモイデアーカイブ

013_012 - 013_017

名取市

2006.11.12 (撮影: 工藤寛之)

2016.11.3 (撮影: 工藤寛之)

震災前、名取市の長崎として、古くからの港町として栄えた名取市閉上地区。被災前には多くの漁船が岸壁に並び、工場や住居が立ち並んでいた。新たな区画整理が進みながらも、いまだ人々の暮らしは戻っていない。

パネル番号：013_012
資料名：閉上港
記録日：2006年11月12日／2016年11月3日
撮影：工藤寛之
地域情報：宮城県名取市

「仙台の五十集」として、古くからの港町として栄えた名取市閉上地区。被災前には多くの漁船が岸壁に並び、工場や住居が立ち並んでいた。新たな区画整理が進みながらも、いまだ人々の暮らしは戻っていない。

東松島市

2011.5.9 (撮影: 天江真)

2011.5.24 (撮影: 天江真)

2015.10.16 (撮影: 天江真)

震災直後、被災地である東松島市。被災した建物が多く、多くは瓦礫の山と化している。被災した建物の多くは解体された。新しい建物が立ち並ぶ様子が見られる。震災直後の様子や、復興の様子を捉えている。

パネル番号：013_013
資料名：JR仙石線東名駅
記録日：2011年5月9日／2011年5月24日／2015年10月16日
撮影：天江真
地域情報：宮城県東松島市

枕木ごと剥がされ大きくねじ曲げられた線路がまるで柵のように見える。新しい東名駅は内陸側にルートを移し、2015年5月に仙石線全線で運行が再開された。

亶理町

2010.10.23 (撮影: 天江真)

2012.9.22 (撮影: 天江真)

2016.1.14 (撮影: 天江真)

震災前、亶理町は温泉地として栄えた。温泉地としての賑わいがあった。震災後は休業していたが、現在は日帰り入浴とレストランが再開している。

パネル番号：013_014
資料名：鳥の海
記録日：2010年10月23日／2012年9月22日／2016年1月14日
撮影：天江真
地域情報：宮城県亶理郡亶理町

震災前は子供達が集まる賑やかな場所だった。後方の建物はわたり温泉鳥の海。被災し休業していたが、現在は日帰り入浴とレストランが再開している。

福島県浪江町

2008.1.19 (撮影: 工藤寛之)

2016.4.14 (撮影: 工藤寛之)

震災前、福島県浪江町の漁港。漁船が並び、活気あふれていた。震災後は避難解除準備区域になったが、岸壁に船が戻ることはなく、解体が遅れた家屋がいまだ無残な姿をさらしている。

パネル番号：013_015
資料名：請戸漁港
記録日：2008年1月19日／2016年4月14日
撮影：工藤寛之
地域情報：福島県浪江町

福島第一原発から10kmの圏内のため、地区全体が立ち入り禁止区域に。現在は避難解除準備区域になったが、岸壁に船が戻ることはなく、解体が遅れた家屋がいまだ無残な姿をさらしている。

福島県浪江町

2008.1.19 (撮影: 工藤寛之)

2016.4.14 (撮影: 工藤寛之)

震災前、請戸地区の入り口に小さな直売所があり、新鮮なシラスや小女子などを購入することができた。しかし津波で跡形なく消えてしまい、運営していた水産会社も県外に移転した。

パネル番号：013_016
資料名：請戸漁港近くの水産物直売所
記録日：2008年1月19日／2016年4月14日
撮影：工藤寛之
地域情報：福島県浪江町

請戸地区の入り口に小さな直売所があり、新鮮なシラスや小女子などを購入することができた。しかし津波で跡形なく消えてしまい、運営していた水産会社も県外に移転した。

名取市

2006.11.12 (撮影: 工藤寛之)

2013.7.16 (撮影: 工藤寛之)

2015.9.2 (撮影: 工藤寛之)

震災前、名取市の閉上地区に建てられた。震災後は休業していたが、現在は日帰り入浴とレストランが再開している。

パネル番号：013_017
資料名：閉上貞山堀
記録日：2006年11月12日／2013年7月16日／2015年9月2日
撮影：工藤寛之
地域情報：宮城県名取市

閉上の街を南北に貫いていた貞山堀には多くの漁船が並び港町の風情を濃厚に伝えていた。被災後にはその面影も消え、現在ではかさ上げ工事が粛々と進むのみである。

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

記録：3.11オモイデアーカイブ

013_018 - 013_023

名取市

2011.3.21 撮影：佐藤晃一

2015.10.16 撮影：佐藤晃一

2016.9.25 撮影：佐藤晃一

※ 閉上中学校は、多くの命が救われ、失われた閉上中学校だが、2016年6月に解体され更地となった。西側にあった小学校も同年に解体、小中一貫校として2018年の開校を目指している。

パネル番号：013_018
資料名：閉上中学校
記録日：2011年3月21日／2015年10月16日／2016年9月25日
撮影：佐藤晃一
地域情報：宮城県名取市

多くの命が救われ、失われた閉上中学校だが、2016年6月に解体され更地となった。西側にあった小学校も同年に解体、小中一貫校として2018年の開校を目指している。

仙台市泉区

2011.3.12 撮影：天江真

2011.10.15 撮影：天江真

2015.10.28 撮影：天江真

※ 沿岸部だけでなく丘陵部、山麓部でも大きな地震があった。造成宅地盛土のすべりによって大きく地盤がずれ、家屋被害が発生し、取り壊された。

パネル番号：013_019
資料名：南光台4丁目交差点
記録日：2011年3月12日／2011年10月15日／2015年10月28日
撮影：天江真
地域情報：仙台市泉区

沿岸部だけが注視されがちだが、丘陵部の住宅地でも大きな地震があった。造成宅地盛土のすべりによって大きく地盤がずれ、家屋被害が発生し、取り壊された。

仙台市泉区

2011.3.17 撮影：福地裕明

2015.12.12 撮影：福地裕明

※ 地下鉄南北線・台原～泉中央間が不通となったため、泉中央駅では連日、台原駅に向かうシャトルバスに乗るため長蛇の列ができた。

パネル番号：013_020
資料名：泉中央駅のバスターミナル
記録日：2011年3月17日／2015年12月12日
撮影：福地裕明
地域情報：仙台市泉区

地下鉄南北線・台原～泉中央間が不通となったため、泉中央駅では連日、台原駅に向かうシャトルバスに乗るため長蛇の列ができた。

仙台市泉区

2011.5.7 撮影：福地裕明

2015.10.31 撮影：福地裕明

※ 粗大ゴミ置き場として設置された。仙台市内では家財などが損壊し、多くの震災ゴミが生じたため、それを一時的に保管する震災ゴミ仮置き場が設置された。

パネル番号：013_021
資料名：将監公園
記録日：2011年5月7日／2015年10月31日
撮影：福地裕明
地域情報：仙台市泉区

しばらくの間、憩いの場が粗大ゴミ置き場と化していた。仙台市内では家財などが損壊し、多くの震災ゴミが生じたため、それを一時的に保管する震災ゴミ仮置き場が設置された。

仙台市宮城野区

2011.3.12 撮影：佐藤晃一

2015.10.15 撮影：佐藤晃一

2016.10.17 撮影：佐藤晃一

※ 震災当日、自衛隊のヘリで多くの人が救出された中野小学校方面を撮影。写真の反対側にはキンビール仙台工場があり、大量の商品が流出し散乱していた。

パネル番号：013_022
資料名：仙台市宮城野区蒲生1丁目
記録日：2011年3月12日／2015年10月15日／2016年10月17日
撮影：佐藤晃一
地域情報：仙台市宮城野区

震災当日、自衛隊のヘリで多くの人が救出された中野小学校方面を撮影。写真の反対側にはキンビール仙台工場があり、大量の商品が流出し散乱していた。

仙台市宮城野区

2011.3.18 撮影：佐藤晃一

2012.5.1 撮影：佐藤晃一

2015.9.20 撮影：佐藤晃一

※ 津波で校舎1階の30cmほど浸水。3月11日は卒業式を翌日に控え準備中だったが、教室から七北田川を逆流する黒い波が見え、先生からは川を見ないように声

パネル番号：013_023
資料名：高砂中学校
記録日：2011年3月18日／2012年5月1日／2015年9月20日
撮影：佐藤圭子（上）／佐藤正実（中・下）
地域情報：仙台市宮城野区

津波で校舎1階の30cmほど浸水。3月11日は卒業式を翌日に控え準備中だったが、教室から七北田川を逆流する黒い波が見え、先生からは川を見ないように声

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

記録：3.11オモイデアーカイブ

013_024 - 013_029

仙台市宮城野区

パネル番号：013_024
資料名：宮城野区岡田
記録日：
 2011年3月27日／2012年9月2日／2015年9月22日
撮影：佐藤正実
地域情報：仙台市宮城野区

震災から2週間後。ガードレール脇にはたくさんの漂流物が流されてきたままの状態。一面、漂流物に覆われていた水田が、多くの人々の手によって力強く復旧した。

2011.3.27
2012.9.2
2015.9.22

宮城野区岡田。震災からの2週間後、ガードレール脇に流れてきた漂流物の山が、2012年9月の中旬に撤去された。震災後、田舎の水田は荒れ果て、多くの人が立ち去った。震災後、田舎の水田は荒れ果て、多くの人が立ち去った。震災後、田舎の水田は荒れ果て、多くの人が立ち去った。

仙台市宮城野区

パネル番号：013_025
資料名：宮城野区蒲生
記録日：
 2011年5月8日／2012年4月30日／2015年10月3日
撮影：佐藤正実
地域情報：仙台市宮城野区

仙台港の整備に伴って埋め立てられた宮城野区蒲生の貞山堀跡地。残った松の木も海水によって枯れ始め、年を経るごとに本数が減り続けている。

2011.5.8
2012.4.30
2015.10.3

宮城野区蒲生。仙台港の整備に伴って埋め立てられた宮城野区蒲生の貞山堀跡地。残った松の木も海水によって枯れ始め、年を経るごとに本数が減り続けている。

仙台市宮城野区

パネル番号：013_026
資料名：宮城野区榴岡
記録日：
 2011年4月4日／2012年6月2日／2015年10月5日
撮影：小林美香（上）／佐藤正実（中・下）
地域情報：仙台市宮城野区

物資不足でコンビニも営業時間が設けられた。店頭には普段見かけない生鮮食品が並び、店内のお弁当やお惣菜類も数種類が並ぶのみだった。非日常感を強く感

2011.4.4
2012.6.2
2015.10.5

宮城野区榴岡。震災からの2週間後、コンビニの営業時間が設けられた。店頭には普段見かけない生鮮食品が並び、店内のお弁当やお惣菜類も数種類が並ぶのみだった。非日常感を強く感

仙台市宮城野区

パネル番号：013_027
資料名：宮城野区福田町
記録日：
 2011年4月8日／2012年5月20日／2014年4月19日
撮影：佐藤正実
地域情報：仙台市宮城野区

4月7日深夜、大きな揺れを感じると、寝ていた次男が大声で泣き出した。大人でさえ身構えた最大震度6強の揺れ。さらに恐怖心が増大し、震災はまだ終わってないと強く感じさせられた。

2011.4.8
2012.5.20
2014.4.19

宮城野区福田町。4月7日深夜から朝方まで、最大震度6強の揺れが続き、大人でさえ身構えた最大震度6強の揺れ。さらに恐怖心が増大し、震災はまだ終わってないと強く感じさせられた。

仙台市宮城野区

パネル番号：013_028
資料名：中野小学校
記録日：2011年5月8日／2015年9月20日
撮影：佐藤正実
地域情報：仙台市宮城野区

海岸線から約1kmの中野小学校には、高さ4.5mの津波が押し寄せた。児童・職員・地元の約600名が屋上に避難し、小雪の降る中一晩過ごした。2016年3月に閉校し、学校跡地には慰霊公園が設けられた。

2011.5.8
2015.9.20

中野小学校。海岸線から約1kmの中野小学校には、高さ4.5mの津波が押し寄せた。児童・職員・地元の約600名が屋上に避難し、小雪の降る中一晩過ごした。2016年3月に閉校し、学校跡地には慰霊公園が設けられた。

仙台市宮城野区

パネル番号：013_029
資料名：宮城野区福田町
記録日：
 2011年4月1日／2014年4月19日／2015年3月30日
撮影：佐藤正実
地域情報：仙台市宮城野区

余震が頻発する中、ようやくコンビニに食料品が並び始めた4月。自宅近くの倒れたブロック塀にスイセンの芽が伸びているのを見て、確実に春に向かっていくんだと感じた。

2011.4.1
2014.4.19
2015.3.30

宮城野区福田町。余震が頻発する中、ようやくコンビニに食料品が並び始めた4月。自宅近くの倒れたブロック塀にスイセンの芽が伸びているのを見て、確実に春に向かっていくんだと感じた。

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

記録：3.11オモイデアーカイブ

013_036 - 013_041



仙台市若林区

パネル番号：013_036
資料名：仙台市若林区荒浜
記録日：2011年4月4日／2015年10月15日／2016年10月17日
撮影：佐藤晃一
地域情報：仙台市若林区

深沼橋手前から見た朝日橋（南の仙台空港方面を望む）。深沼海水浴場に沿うように流れる貞山堀は、かつて両岸に見事な松林が続き、風光明媚な場所であった。



石巻市

パネル番号：013_037
資料名：石巻市日和ヶ丘4丁目
記録日：2011年3月18日／2015年3月22日／2016年11月5日
撮影：大林紅子
地域情報：宮城県石巻市

北上川河口方面を望む。門脇・南浜の惨状に「爆弾でも落ちたようだ」と誰かがつぶやいていた。2016年、石段の右側には展望台が増設された。



石巻市

パネル番号：013_038
資料名：石巻市門脇3丁目
記録日：2011年3月27日／2016年1月3日／2016年11月5日
撮影：大林紅子
地域情報：宮城県石巻市

日和山方面に称法寺の大屋根が見える。2016年11月現在はこの付近もかさ上げ工事のため、通行止になっていた。周辺には新しい道路が次々と作られている。



石巻市

パネル番号：013_039
資料名：日和山から中瀬を望む
記録日：2011年3月28日／2015年11月21日
撮影：大林紅子
地域情報：宮城県石巻市

川沿いの建物は解体され、いまも護岸工事が続いている。この場所に立つと、被災前の造船所から響いていたカーカーンという音が思い出される。



石巻市

パネル番号：013_040
資料名：石巻市中央2丁目
記録日：2011年3月28日／2015年11月29日
撮影：大林紅子
地域情報：宮城県石巻市

安政2年創業の春潮楼はかつて接待にも使われた老舗の割烹であった。現在はメニューを変えて営業を続けている。海水にさらされても枯れることなく凛として立つ大木の下には小さな祠が祀られている。



石巻市

パネル番号：013_041
資料名：石巻市中央2丁目
記録日：2011年3月28日／2015年10月12日
撮影：大林紅子
地域情報：宮城県石巻市

北上川沿いから橋通り方面を望む。北上川から1区画ほど離れた交差点に、小型船が乗り上げていた。建物の取り壊しが進み、空き地が目立つ。

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

記録：3.11オモイデアーカイブ

013_042 - 013_047



パネル番号：013_042

資料名：

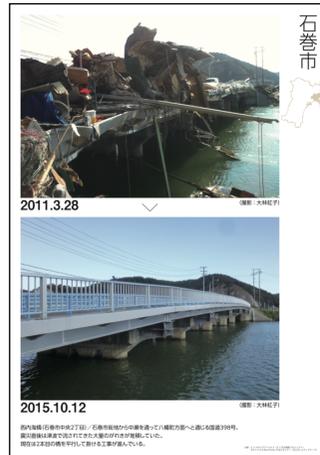
石巻市羽黒町1丁目

記録日：2011年3月27日／
2015年11月21日

撮影：大林紅子

地域情報：宮城県石巻市

浸水被害がなかった山の手地区には生活情報が入らず、あちこちに手書きのメッセージが貼られていた。前方の信号を右折すると、当時遺体安置所として使われていた石巻市総合体育館がある。



パネル番号：013_043

資料名：西内海橋（石巻市中央2丁目）

記録日：2011年3月28日／
2015年10月12日

撮影：大林紅子

地域情報：宮城県石巻市

石巻市街地から中瀬を通過して八幡町方面へと通じる国道398号。震災直後は津波で流されてきた大量のがれきが堆積していた。現在は2本目の橋を平行してかける工事が進んでいる。



パネル番号：013_044

資料名：石巻市中央2丁目

記録日：2011年3月28日／
2015年10月12日

撮影：大林紅子

地域情報：宮城県石巻市

内海橋には津波によるがれきが堆積し、立ち入り禁止となっていたが、自己責任で歩行者や自転車は通行していた。人々は思いつく限りの方法で生活情報を共有していた。



パネル番号：013_045

資料名：

石巻市住吉町1丁目

記録日：2011年4月10日／
2016年11月5日

撮影：大林紅子

地域情報：宮城県石巻市

住吉公園から雄島には赤い太鼓橋で渡ることができた。2016年11月現在は護岸工事で通行禁止になっている。先端の松の下には、石巻の地名の由来となった「巻石」がある。



パネル番号：013_046

資料名：石巻市中央2丁目

記録日：2011年4月10日／2016年1月3日／
2016年11月5日

撮影：大林紅子

地域情報：宮城県石巻市

橋渡し商店街。文字通り内海橋につながる商店街で、かつては文房具屋・家具屋で賑わっていた。建物のほとんどが取り壊され、空き地が目立つ。かつての商店街の面影は失われている。



パネル番号：013_047

資料名：日和山から北上川河口を望む

記録日：2011年4月10日／
2015年11月21日

撮影：大林紅子

地域情報：宮城県石巻市

震災から1ヶ月が経ってもかろうじて自衛隊が道路を復旧したばかり。一面を覆っていたがれきは撤去され現在もかさ上げ工事が続いている。日和大橋と松の木だけが当時の姿を留めている。

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

記録：3.11オモイデアーカイブ

013_048 - 013_053



石巻市

パネル番号：013_048
資料名：石巻市中央2丁目
記録日：2011年4月11日 / 2016年11月5日
撮影：大林紅子
地域情報：宮城県石巻市

鈴徳商店街はかろうじて建っているが、奥の本田時計店は二階部分が崩れ落ちている。現在はほとんどの建物が撤去された。遠くに見えるNTTの鉄塔がなければ場所の特定ができないほど変化している。



石巻市

パネル番号：013_049
資料名：石巻市門脇町5丁目
記録日：2011年4月15日 / 2015年11月21日
撮影：大林紅子
地域情報：宮城県石巻市

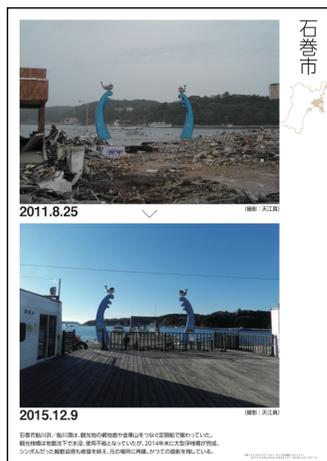
門脇小学校の南側にあったプール。訪れた卒業生達が変わり果てた母校を見つめる。現在は埋め立てられ、かさ上げ用の土が近くに盛られ、その面影すら留めていない。



石巻市

パネル番号：013_050
資料名：石巻市住吉町1丁目
記録日：2011年4月15日 / 2015年11月29日
撮影：大林紅子
地域情報：宮城県石巻市

海水に浸って使えなくなった家具・畳・布団などがまち中に積み上げられている。右手は愛宕神社に昇る階段で、かつて上には望楼が建ち、チリ地震津波の時はみなここに避難したそうだ。



石巻市

パネル番号：013_051
資料名：石巻市鮎川浜
記録日：2011年8月25日 / 2015年12月9日
撮影：天江真
地域情報：宮城県石巻市

観光地の網地島や金華山をつなぐ定期船で賑わっていた。観光桟橋は地盤沈下で水没、使用不可能となっていたが、2014年末に大型浮桟橋が完成。鯨歓迎塔も修復を終え、元の場所に再建。かつての面影を残している。



石巻市

パネル番号：013_052
資料名：おしかホエールランド
記録日：2011年8月25日 / 2015年12月9日
撮影：天江真
地域情報：宮城県石巻市

日本有数の捕鯨基地として栄えた鮎川を伝える施設だった。希少なコククジラの骨格標本など展示品の大半が被害にあったが、広場にあった全長68mの捕鯨船は今もそのままの姿を見せる。



石巻市

パネル番号：013_053
資料名：石巻市河北町釜谷
記録日：2012年9月7日 / 2012年10月13日 / 2016年1月26日
撮影：天江真
地域情報：宮城県石巻市

海のように見えるここは実は田んぼで、中央に見える部分は農道だった。地盤沈下と堤防決壊による浸水で一面が海のようになった。震災から4年半を経てようやく排水され陸地に戻った。

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

記録：3.11オモイデアーカイブ

013_054 - 013_059

気仙沼市



2012.3.15



2016.11.4

パネル番号：013_054
資料名：第18共徳丸
記録日：2012年3月15日／2016年11月4日
撮影：工藤寛之
地域情報：宮城県気仙沼市

被災直後は気仙沼市を代表する震災遺構としてシンボルとなっていた。しかし船主の判断と市民意向調査の結果、同船は解体が決定し、姿を消した。いまでは船のあった場所を確かめることすら難しい。

南三陸町



2011.9.6



2015.12.21

パネル番号：013_055
資料名：南三陸町戸倉折立
記録日：2011年9月6日／2015年12月21日
撮影：天江真
地域情報：宮城県南三陸町

JR気仙沼線陸前戸倉駅の近く。津波の被害を受けたが、2013年には旧ホームと線路を撤去した専用道路上にBRT用のルートが整備された。

南三陸町



2011.9.6



2015.10.28

パネル番号：013_056
資料名：JR気仙沼線志津川駅
記録日：2011年9月6日／2015年10月28日
撮影：天江真
地域情報：宮城県南三陸町

かつての志津川駅ホームからの風景。周囲はかさ上げ工事が進み、ホームの高さ以上に盛り土が積まれている。公立志津川病院の建物は消え、高野会館だけが残る。

東松島市



2011.3.17



2015.11.22

パネル番号：013_057
資料名：東松島市赤井字新川前付近
記録日：2011年3月17日／2015年11月22日
撮影：大林紅子
地域情報：宮城県東松島市

国道45号が至る所で陥没・浸水。近隣に住まう人々は平板を渡し、生活通路を確保していた。主要国道のため急ぎ復旧工事が行われ、この2日後には車で通行できるようになっていた。

仙台市青葉区



2011.3.14



2015.11.2

パネル番号：013_058
資料名：台原森林公園入口（台原駅側）
記録日：2011年3月14日／2015年11月2日
撮影：福地裕明
地域情報：仙台市青葉区

震災から3日後。給水所が設置され、水を求めて長蛇の列ができていた。今はもう、その痕跡はない。

東松島市



2011.5.9



2011.5.27



2015.10.16

パネル番号：013_059
資料名：JR仙石線東名駅
記録日：2011年5月9日／2011年5月27日／2015年10月16日
撮影：天江真
地域情報：宮城県東松島市

県道27号奥松島松島公園線の跨線橋から、かつての東名駅を望む。撤去作業が始まると一気に進み、駅のホームも周囲の家屋も取り壊され、線路がどこを走っていたのかもわからないほど。

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

記録：3.11オモイデアーカイブ

013_060 - 013_065



東松島市

パネル番号：013_060
資料名：野蒜
記録日：
2011年5月12日／2011年5月27日／2016年1月8日
撮影：天江真
地域情報：宮城県東松島市

東名運河に架かる亀岡橋の上から。中の写真は遺体捜索のために川を一旦遮断し、堤防が作られているところ。後に運河は元に戻ったが、周囲の建物は姿を消した。



塩竈市

パネル番号：013_061
資料名：塩竈市港町2丁目
記録日：
2011年4月27日／2011年8月19日／2016年11月12日
撮影：天江真
地域情報：宮城県塩竈市

再建されないまま更地になっている住宅地。このあたりは最大で1m地盤沈下しており、2016年の写真は40cmほど土地全体のかさ上げ工事が終わった後。



七ヶ浜町

パネル番号：013_062
資料名：七ヶ浜町天淵浜
記録日：
2011年4月27日／2015年11月9日／2016年8月23日
撮影：天江真
地域情報：宮城県七ヶ浜町

県道58号のT字路、左手が小豆浜、右へ行くと七ヶ浜国際村。海岸沿いの道路は多くが被災した。この道路も内陸側に仮の道路が作られ、復旧工事が行われた後に元の位置に再整備された。



七ヶ浜町

パネル番号：013_063
資料名：七ヶ浜町菖蒲田浜
記録日：
2011年4月27日／2012年9月19日／2016年8月23日
撮影：天江真
地域情報：宮城県七ヶ浜町

菖蒲田浜海水浴場の駐車場は、松林、家屋の全てが消えてしまった。復旧工事の進捗と共に防潮堤が作られ海は眺められなくなり、消波ブロックなどの建材置き場となっていた。



七ヶ浜町

パネル番号：013_064
資料名：七ヶ浜町菖蒲田浜
記録日：
2011年4月27日／2015年11月3日／2016年8月23日
撮影：天江真
地域情報：宮城県七ヶ浜町

被災後は資材置き場となり、防潮堤の工事が進められた。震災の影響で休止していた海水浴場は、平成28年に10日間のみプレオープン。平成29年からの本格稼働を目指している。



多賀城市

パネル番号：013_065
資料名：多賀城市町前
記録日：2011年4月3日／2016年1月8日
撮影：天江真
地域情報：宮城県多賀城市

イオン多賀城店の西側。震災から3週間経ち、仙台市中心部ではある程度日常が戻りつつあった頃、まだこの状態で、そのギャップに驚いた。震災前は、ここが海に近いとは考えたこともなかった。

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

記録：3.11オモイデアーカイブ

013_066 - 013_071



パネル番号：013_066
資料名：名取市鍋沼
記録日：
2011年3月21日／2012年4月29日／2013年9月14日
撮影：三浦隆一（上）／佐藤正実（中・下）
地域情報：宮城県名取市

津波は高速道路の橋梁構造部分を通り抜け、内陸部まで到達した。津波で流されてきた家や車、木で覆われていた沿岸部が、わずか3年でここまで復旧するとは、予想もできなかった。



パネル番号：013_067
資料名：名取市関上1丁目
記録日：
2011年3月21日／2016年7月3日／2016年9月25日
撮影：佐藤晃一
地域情報：宮城県名取市

かつての商店街はすっかりなくなり、さらにアスファルトが剥がされた。この写真に写る赤間米穀燃料店と佐々木酒造店は、美田園の「関上さいかい市場」にて営業を再開している。



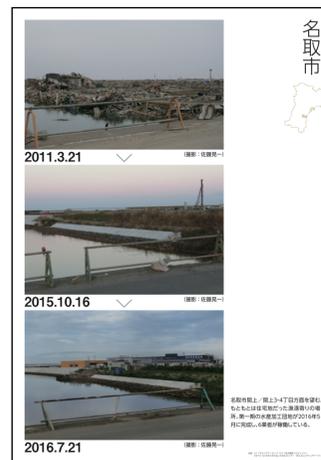
パネル番号：013_068
資料名：名取市関上
記録日：
2011年3月21日／2016年7月3日／2016年10月16日
撮影：佐藤晃一
地域情報：宮城県名取市

関上三丁目付近から西側を望む。このあたりは住宅地だった。2016年現在、向こう側に集合型の災害公営住宅を造るために海拔5mの土盛りがされている。



パネル番号：013_069
資料名：名取市関上
記録日：
2011年3月21日／2015年10月16日／2016年7月3日
撮影：佐藤晃一
地域情報：宮城県名取市

五叉路の歩道橋方面を望む。2016年の写真は海拔5mにかさ上げされている。土地区画整理事業の土盛りは2016年10月時点で8割弱が搬入済み。



パネル番号：013_070
資料名：名取市関上
記録日：
2011年3月21日／2015年10月16日／2016年7月21日
撮影：佐藤晃一
地域情報：宮城県名取市

関上3・4丁目方面を望む。もともとは住宅地だった漁港よりの場所。第一期の水産加工団地が2016年5月に完成し、6業者が稼働している。



パネル番号：013_071
資料名：関上貞山堀
記録日：
2006年11月12日／2013年7月16日／2015年9月2日
撮影：工藤寛之
地域情報：宮城県名取市

関上の街を南北に貫いていた貞山堀には、多くの漁船が並び港町の風情を濃厚に伝えていた。被災後にはその面影も消え、護岸工事と共に現在ではかさ上げ工事が粛々と進むのみである。

13. 3.11オモイデアーカイブ「3.11定点撮影プロジェクト」

013_072

記録：3.11オモイデアーカイブ



パネル番号：013_072

資料名：岩沼市相の釜

記録日：

2011年3月21日／2015年10月16日／2016年10月17日

撮影：佐藤晃一

地域情報：宮城県岩沼市

仙台空港から海側に位置する、相の釜地区。岩沼市ではこの周辺一帯をメモリアルパーク「千年希望の丘」として整備する計画を進めており、ここが駐車場入口となっている。